

序章 ガイドライン策定の背景と目的

～ガイドライン策定の背景～

まちを知らない人が、まちを歩き、目的地へ行くためには、”まちの情報”が必要になります。公共サインは、まちを案内・誘導するための情報を提供するための手段です。

近年ではインターネットなど様々な媒体を通して、いつでも”まちの情報”を得ることができ、機会が多くなりました。しかし、実際にまちを来訪した際、公共サインが必要な場所に整備され、”まちの情報”を提供する公共サインの機能が十分に発揮されていれば、さらにまちを利用しやすくなります。

鳥取市では今後、鳥取自動車道の開通による来訪者の増加が見込まれ、様々な人が本市を訪れてくださると考えています。また、山陰海岸国立公園を中心とした「山陰海岸ジオパーク」の世界ジオパークネットワーク加盟が認定されたことから、外国人来訪者の増加も想定され、国際化への対応の充実が必要になります。

鳥取市に住んでいる、また様々な目的で訪れるすべての人に対して、思いやり・おもてなしの心でまちの案内役となる公共サインが必要とされています。

～ガイドライン策定の目的～

本市の公共サインの現状は、表記方法や目的地までの案内のしくみが設置場所や設置主体によってまちまちであり、連続性・統一性を持って整備されていないため、まちの情報を分かりやすく提供する機能が果たせていません。また、サイン施設を整備しても、設置後のメンテナンスが不十分という問題もあります。

今後、すべての人にまちの情報を的確に提供していくために、案内・誘導サインや観光案内などの「公共サイン」の整備にあたり、ユニバーサルデザインの観点を重視し、目的地への円滑な誘導やわかりやすい表記となるよう、基準を示す必要があります。また、公共サインは景観を構成するひとつの要素でもあるため、無秩序に乱立しないための基準等も必要です。鳥取市では、まちの案内役となる公共サインを積極的に活用し、分かりやすく魅力的なまちづくりを進めるためにも、公共サインを整備する際のガイドラインとなる「鳥取市公共サインガイドライン」を策定いたします。